

科目名	化学英語	英語科目名	English for Chemistry
開講年度・学期	平成 28 年度・前期	対象学科・専攻・学年	物質工学科 5 年
授業形態	講義	必修 or 選択	選択
単位数	1 単位	単位種類	学修単位(講義 B)
担当教員	A:武 成祥 B:亀山雅之 C:笹沼いづみ	居室(もしくは所属)	電気物質棟 4 階 電気物質棟 4 階 電気物質棟 3 階
電話	内線 809 内線 801 内線 811	E-mail	wuc @小山高専ドメイン名 kameyama @小山高専ドメイン名 sasaki@小山高専ドメイン名
授業到達目標との対応			
授業の到達目標		小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE) JABEE 基準
1. be 動詞と have 動詞を用いて英文を作成できること。		⑥	E d-2, d-4, f, g
2. 大きさと性質について表現する英文を作成できること。		⑥	E d-2, d-4, f, g
3. 比較の表現および科学における法助動詞活用ができること。		⑥	E d-2, d-4, f, g
4. 受動態の英文を作成できること。		⑥	E d-2, d-4, f, g
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1. クラスを 3 グループ(A, B, C)に分けて習熟度別授業を行う。 2. 中間試験の成績を考慮し、グループメンバーの入れ替えを行う。 3. 達成目標 1~4 に対しては、中間試験と定期試験の関連問題、および課題または小テストの 60%以上の成績で達成とする。			
評価方法			
課題または小テスト(40%)、中間試験(30%)および定期試験試験(30%)の成績により総合的に評価する。			
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間
1. be動詞とhave動詞	構文の解釈、英文の作成、小テストのための学習		1
2. be動詞とhave動詞	構文の解釈、英文の作成、小テストのための学習		1
3. 大きさと性質	構文の解釈、英文の作成、小テストのための学習		1
4. 大きさと性質	構文の解釈、英文の作成、小テストのための学習		1
5. 比較と法助動詞	構文の解釈、英文の作成、小テストのための学習		1
6. 比較と法助動詞	構文の解釈、英文の作成、小テストのための学習		1
7. 比較と法助動詞	構文の解釈、英文の作成、小テストのための学習		1
8. 中間試験	授業内容 1~7 についてテストのための学習		
9. 受動態	文の解釈、英文の作成、小テストのための学習		1
10. 受動態	構文の解釈、英文の作成、小テストのための学習		1
11. 受動態	構文の解釈、英文の作成、小テストのための学習		1
12. 受動態	構文の解釈、英文の作成、小テストのための学習		1
13. 関係詞	構文の解釈、英文の作成、小テストのための学習		1
14. 関係詞	構文の解釈、英文の作成、小テストのための学習		1
15. 関係詞	構文の解釈、英文の作成、小テストのための学習		1
16. 関係詞	構文の解釈、英文の作成、小テストのための学習		1
定期試験	授業内容 6~7 についてテストのための学習		
各グループ自学自習時間数			15
キーワード	科学英語、構文解釈、英作文、化学英単語		
教科書	科学英語の書き方、日経サイエンス、1993		
参考書	1. エssenシャル化学辞典、東京化学同人、1999 2. 化学英語の活用辞典、化学同人、1999		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	英語 I・II・III、英語ライティング A・B、英会話、英語演習 I、英語表現 I・II		
現学年の関連科目	卒業研究		
次年度以降の関連科目	専攻科：特別研究、ゼミナール I・II・III		
連絡事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・ クラス分は中間試験の成績により行います。毎回しっかり勉強しましょう。 ・ 専門英語の読解力、和訳、英訳、そして、聞くと話す力もこの講義で身につけましょう。 ・ 積極的に楽しく授業参加しましょう。集中力を高め、レベルアップを目指しましょう。 			
シラバス作成年月日	平成 28 年 2 月 14 日		